

処理対象量の見直しについて（平成28年10月）

1. 豊島廃棄物等の処理対象量の推計結果

- 平成27年度末の見直しでは、体積は約61万7千 m^3 、重量は約90万4千トンでした。
- 平成28年10月1日現在の推計では、処理対象量は、約90万4千トンの見込みとなっておりますが、廃棄物等についてはつぼ掘りが多かったこと等により、約1万1千トン増加し、約87万7千トンとなり、一方、直下汚染土壌について約1万1千トン減少しています。

【今回の推計結果】（平成28年10月1日現在）

項目	体積(千 m^3)	重量(千トン)	密度(トン/ m^3)
処理対象量	616 (617)	904 (904)	—
廃棄物等	601 (596)	877 (866)	—
処理済量	577	839	1.46 (1.45)
残存量	24	38	1.58 (1.56)
直下汚染土壌	15 (21)	27 (38)	—
処理済量	5	10	1.83 (1.81)
残存量	9	17	

※括弧内の数字は、平成28年3月末現在の推計である。

2. 処理期間

- 現段階で機械的に試算すると、平成29年3月末に廃棄物等の処理が完了する見込みです。
- 平成28年度末までの処理完了は全く予断を許さない、極めて厳しい状況となっており、また、調停条項で定められている廃棄物等の搬出期限についても同様に極めて厳しい状況となっております。

※今回の調査結果による処理対象量等については、現段階での推計であり、掘削が完了しないと量は確定しないため、今後増減する可能性があります。

3. 今後の対応

- 県では、今後、次のとおり対応します。
 - ① 12月末までには廃棄物等の掘削を終えて体積ベースの処理量を確定させるなど、きめ細かな進行管理に努めます。
 - ② 処理及び搬出ともより一層スピードアップするよう努めます。
 - ③ 今後とも豊島廃棄物等管理委員会の指導・助言を得ながら、安全と環境保全を第一に処理に努めます。